環境省
Ministry of the Environment

「緑の経済と社会の変革」と 科学技術政策に関する基本的考え方

資料３－10

平成21年4月21日

◆アジアへ、そして世界へ広げる取組
◆政策のベストミックス
◆すべての主体の参画と協働
◆低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の統合的な実現
◆環境と経済の統合的向上

緑の経済と社会の変革

緑の社会資本への変革
「緑の公共事業」で需要を創出

緑の地域コミュニティへの変革
「地域の活力」を活かした取組を促進

緑の消費への変革
家庭から始まる緑の需要創出を支援

緑の投資への変革
緑の需要に応えうる先端環境産業の育成

緑の技術革新
世界最先端の技術力の未来に向けた強化

緑のアジアへの貢献
持続的に発展するアジアとともに築くゆたかな社会

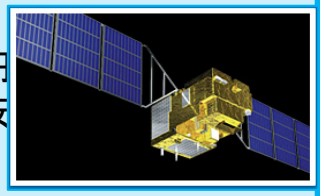
経済と社会の変革・意識改革のための社会実験の推進
環境エネルギー技術革新計画の加速、　等

経済危機対策

(案)一般会計：1,870億円　うち科学技術関係34.7億円

[参考]　当初予算における科学技術関係経費は350億円(エネルギー特別会計を含む)。うち競争的研究資金は107億円。

1.低炭素革命(成長戦略)



- 電気バス等の普及モデル策定(地域産学官連携環境先端技術普及モデル策定事業、7.00億円)
- 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき(GOSAT)」機能強化等(11.17億円)
- 微量PCB混入廃電気機器等の安心・安全で効率的な処理事業(1.50億円)
- し尿・浄化槽汚泥からのリン回収・利活用推進モデル事業(0.90億円)

等

2.安全・安心確保等(安心と活力の実現)

- 小児環境保健研究プロジェクト(9.77億円)
- 野鳥における鳥インフルエンザ対策(1.12億円)

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%